

はじめに

「人間とはどのような存在なのか」という、これまで何世紀にもわたって哲学や文学、そして心理学といったいわゆる人文科学の領域に属するものとして扱われてきた問いに、今、遺伝学、脳科学、進化論といった生物学を含めたアプローチが試みられようとしている。この観点からの大きな流れは、人間の精神の解明にまで及ぼうとしている。現在ではまだ未知の部分も多いが、今後はこうした方向性からの「新しい理解」がさらに確実なものとなり、我々の日常生活に取り込まれていくのであろう。

本書は、こうした大きな流れを背景に、著者のステイプルトン氏がこれまで出版された数多くの専門書や啓蒙書を踏まえ、この「新しい理解」のエッセンスを、著者独自の見解を交えて、やさしい英語で明確に述べたものである。扱っている題材は、我々自身のみならず、我々を取り巻く世界、すなわちこの地球と宇宙にまで及んでいる。主なトピックをあげると、Section Iでは、生命の誕生と進化、人類の未来、Section IIでは、遺伝と環境、さらに言語・芸術・食文化・意識の起源、Section IIIでは、病気と健康、宇宙の未来などである。どの章の話題も直接我々自身にかかわる形で語られているので、興味を失うことなく読んでいける。もちろん、専門的な知識は一切必要としないので、いわゆる文系・理系を問わず、あらゆる学生に読んでもらえると思う。ぜひ一人でも多くの学生に人間という存在を新しい角度から見つめ直す「面白さ」を味わってもらいたい。

注を施すにあたっては、内容的に難しい語については背景知識に踏み込んで分かり易く解説するように心掛けた。また、特に以下のことに留意した。まず、このテキストが精読の授業で辞書を使いながら使用されることを前提として、通常の英和辞典で求める語義が容易に見つかるものについては難しい語でもあえて取り上げなかった。取り上げたのは、それ以外の項目、すなわち、見つけに

くいか記載されていないもの、また、語義が適切でないものや日本語訳ではその語句の意味が十分に伝えられないものなどである。これらについては、必要に応じて英英辞典における定義や例文をあげ、学生の理解を図るように努めた。使用した英英辞典はいずれも学習者用にわかりやすく書かれており、語句の意味をより正確に把握するには欠かすことができないものである。学生諸君には、ぜひこれらの辞典を使って英語を読むことを勧める。また、一度取り上げた語句が二度、三度と現れた場合、初出の箇所を参照できるようにした。これは、その語句の意味や用法を繰り返し確認することによって、確実にマスターしてほしいとの願いからである。

各章の練習問題では語彙、内容理解、文法と語法の問題を取り上げた。文法と語法の問題はほとんどが基本的なもので、学生にぜひ身に付けてほしいと思うものを選んである。

最後に、このテキストの編集と出版にあたり、編集部の嶋田和成氏と犬山秀紀氏には大変お世話になった。ここに改めて感謝の意を表したい。また、本文の内容や練習問題に関する数多くの質問に快く答えていただいた著者のステイプルトン氏にも改めて感謝したい。

2001年11月

大野 公裕